

平成 27 年 1 月 29 日

各位

会社名 株式会社 新生銀行  
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹  
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

### 平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算、および通期業績予想の上方修正について

当行の、平成 27 年 3 月期第 3 四半期決算は、連結四半期純利益 523 億円、同キャッシュベース<sup>1</sup>四半期純利益 581 億円となり、前年同期比大幅な増益となりました。なお、単体四半期純利益についても、357 億円となり、前年同期比 139 億円増益となりました。

第 3 四半期までの堅調な業績に加え、与信関連費用が当初計画を下回ることが見込まれることから、平成 26 年 5 月 8 日、および平成 26 年 10 月 31 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期通期業績予想を、以下の通り、上方修正いたします。

- 連結当期純利益予想は、550 億円から 630 億円に上方修正
- キャッシュベース<sup>1</sup>連結当期純利益予想は、620 億円から 700 億円に上方修正
- 連結経常利益予想は、600 億円から 710 億円に上方修正
- 単体実質業務純益予想は、420 億円を据え置き
- 単体当期純利益予想は、340 億円から 420 億円に上方修正
- 期末配当予想 1 円 00 銭につきましては修正いたしません

#### 平成 27 年 3 月期 第 3 四半期 損益の状況(連結)

(単位:億円)

	平成27年3月期 第3四半期(9か月)	平成26年3月期 第3四半期(9か月)	増減額
業務粗利益	1,756	1,521	235
経費	△1,054	△994	△59
与信関連費用	△57	△6	△50
利息返還損失引当金繰入額	△8	△136	127
四半期純利益	523	277	246
キャッシュベース <sup>1</sup> 四半期純利益	581	342	239

#### 当期の連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位:億円)

	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	キャッシュベース <sup>1</sup> 当期純利益
前回発表見通し(A) <sup>2</sup>	600	550	20円72銭	620
今回発表見通し(B)	710	630	23円73銭	700
増減額 (B-A)	110	80	3円01銭	80
増減率 (%)	18.3%	14.5%	14.5%	12.9%
(ご参考)前期実績(平成26年3月期)	441	413	15円59銭	498

#### 当期の単体業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)(単位:億円)

	実質業務純益	当期純利益
前回発表見通し(A)(平成26年5月8日公表)	420	340
今回発表見通し(B)	420	420
増減額 (B-A)	—	80
増減率 (%)	—	23.5%
(ご参考)前期実績(平成26年3月期)	298	364

<sup>1</sup> 純利益からのれんに係る償却額及び企業結合に伴う無形固定資産償却額とそれに伴う繰延税金負債取崩額を除いたもの

<sup>2</sup> 連結経常利益予想の前回公表日は平成 26 年 10 月 31 日、連結当期純利益予想、1 株当たり連結当期純利益予想、キャッシュベース<sup>1</sup>連結当期純利益予想の前回公表日は平成 26 年 5 月 8 日

## 業績

- **業務粗利益**は、堅調に推移し、前年同期の 1,521 億円から 235 億円増加し、当第 3 四半期は 1,756 億円。
- **経費**は、注力分野に経営資源の投入を図り、前年同期の 994 億円から 59 億円増加し、当第 3 四半期は 1,054 億円。
- **与信関連費用**は、消費者金融ファイナンス業務において貸出金が順調に増加したことから前年同期の 6 億円(費用)から 50 億円増加し、当第 3 四半期は 57 億円(費用)。
- **その他損失**は、前年同期に 136 億円計上した消費者金融ファイナンス子会社における利息返還損失引当金の追加繰入が当第 3 四半期は 8 億円だったことから、前年同期の 150 億円の損失から大幅に改善し、当第 3 四半期は 15 億円の損失。
- **連結四半期純利益**は、前年同期の 277 億円から 246 億円増益となり、当第 3 四半期は 523 億円。
- **単体四半期純利益**は、前年同期の 218 億円から 139 億円増益となり、当第 3 四半期は 357 億円。
- **総資産**は、平成 26 年 3 月末の 9 兆 3,211 億円から 2,396 億円減少し、平成 26 年 12 月末は 9 兆 814 億円。

## 資本および資産の質

- **自己資本比率**は、内部留保の着実な積上げや不良債権の削減により、連結コア自己資本比率は平成 26 年 3 月末の 13.58%から平成 26 年 12 月末の 14.20%に、0.62 ポイント改善。
- **不良債権比率**は、不良債権残高を平成 26 年 3 月末の 1,647 億円から平成 26 年 12 月末の 840 億円に 807 億円削減した結果、平成 26 年 3 月末の 3.81%から平成 26 年 12 月末の 1.99%に 1.82 ポイント低下。

当期決算の詳細については、以下当行 URL(「IR 情報」メニューの中の「四半期決算情報」)をご覧ください。

URL: [http://www.shinseibank.com/corporate/ir/quarterly\\_results/index.html](http://www.shinseibank.com/corporate/ir/quarterly_results/index.html)

以上

お問い合わせ先  
新生銀行 IR・広報部  
高橋、江口  
Tel.03-6880-8303